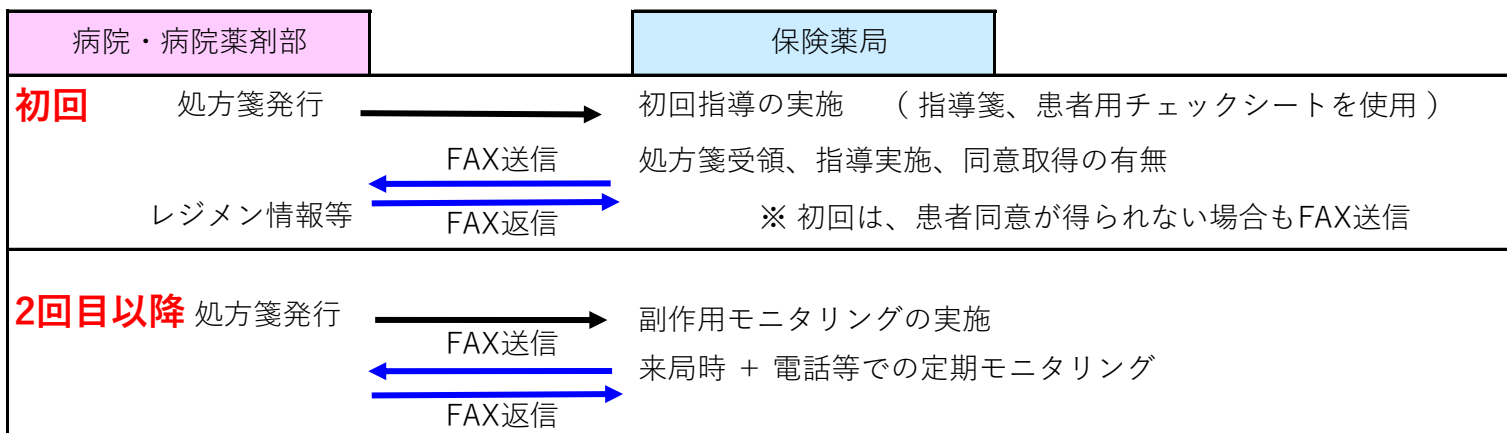


手足症候群の指導について

特に注意が必要な薬剤

代謝拮抗薬	分子標的治療薬	
カペシタビン（ゼローダ®）	アキシチニブ（インライタ®）	
テガフル・ギメラシル・オテラシル （ティーエスワン®）	エベロリムス （アフィニトール）	ソラフェニブ （ネクサバル®）
テガフル・ウラシル（ユーエフティー®）	スニチニブ（スーテント®）	ニロチニブ（タシグナ）
テガフル（フトラフル®）	パゾパニブ（ヴォトリエント®）	
ドキシフルリジン（フルツロン®）	レゴラフェニブ（スチバーガ®）	レンバチニブ（レンビマ®）
フルオロウラシル（5-FU®）・・・など		・・・など



グレード	手足症候群のグレード判断基準と対処
1	痛みを伴わないわずかな皮膚の変化、または皮膚炎 日常生活に制限なし 保湿に努めるよう指導
2	痛みを伴う皮膚の変化 機能障害のない皮膚の変化 日常生活に制限あり 保湿に努めるよう指導 & 処方病院の薬剤師へ連絡
3	痛みを伴う高度な皮膚の変化 潰瘍性皮膚炎または痛みによる機能障害を伴う皮膚の変化 日常生活を送ることが困難 処方医を受診するよう指導 & 処方病院の薬剤師へ連絡

以下の症状が出現した際は、処方された病院への連絡を指導してください。

「38℃以上の熱」「食事ができないほどの下痢・口内炎」

※ 緊急対応の情報は、初回指導時に必ず行いましょう